

女子		男子		部門
2.85km	1.65km	2.85km	1.65km	
香取愛子 (神奈川県)	加藤詩帆加 (静岡県)	斉藤晟也 (裾野市)	梅原克佳 (伊豆市)	1位
高井茉莉 (伊豆の国市)	渡辺花帆 (伊豆の国市)	高井規充 (伊豆の国市)	高井規充 (伊豆の国市)	2位
豊竹輝美 (函南町)	大谷菜々子 (三島市)	山本雄介 (伊豆の国市)	稲村健 (三島市)	3位

**1/1 新春の走り初めに839人
元旦マラソン&ウォーキング大会**

今年で7回目となる元旦マラソン&ウォーキング大会を、葦山時代劇場をスタート・ゴールに開催しました。新春の日差しを浴びて、市内外からの参加者839人が走り(歩き)初めをしました。

マラソンの部の結果は次のとおり



晴天の下、過去最多 839 人が走り(歩き)初め



表彰を受け、代表して謝辞を述べる相澤和民さん

**1/4 新年を迎え飛躍を誓う
平成24年賀詞交歓会**

各区長や市内の各種団体、企業の代表者ら241人を招待し、伊豆洋らんパークで平成24年賀詞交歓会を行いました。

望月市長は「朝日が昇るごとく勢いのある辰年を目指したい。伊豆半島の中心的な役割が担えるような市にしたい」と新年の抱負を語りました。

続いて、本年度功績・善行表彰の55団体・個人(一般・高校生)のうち、一般の24団体・個人の皆さんの功績を紹介しました。

最後に長岡北小の4、5年生が市を題材にした歌『守つていこう伊豆の国』を披露。会場内にきれいな歌声を響かせました。

**1/8 380人が晴れの門出
平成24年伊豆の国市成人式**

アクシスカつらぎを会場に行つた伊豆の国市成人式には、華やかな振袖やりりしいスーツ姿などに身を包んだ約380人の新成人が出席。晴れの門出を祝いました。

式典では望月市長が「昨年の東日本大震災後、若い人たちが復興に向けて力を注いでいる。新しい時代を担う皆さんには多いに期待している」とあいさつ。続いて、新成人を代表して池田雄太さん(原本)が「一人ひとりが夢を育んだこの地で、心ある成人になれるよう努力したい」と誓いの言葉を述べました。

式典後には、実行委員会主催の新成人企画が3会場で行われました。



新成人を代表し誓いの言葉を述べる池田雄太さん



品評会に出品された良質なイチゴを求める来客

**1/14 旬のイチゴを求め人々、人
伊豆の国市いちごまつり**

晴天に恵まれたこの日、JAGグリーンプラザを会場に、伊豆の国市いちごまつりを開催。今が旬のイチゴを求める多くの来場者でにぎわいました。

前日の品評会に出品されたイチゴやミニトマトなどの販売は、売り出す前から長蛇の列の人気。100円以上の寄付で販売する『イチゴチャリティー』も好評でした。

そのほか、ステージではよさこいソーラン絆やキヨミジャズダンススクールによるパフォーマンスが繰り広げられたほか、コメやイチゴなどが当たる大抽選会や餅まきも盛り上がりしました。

**1/8 高まる消防団の重要性
伊豆の国市消防団出初式**

中島運動公園で行われた市消防団(伊奈始団長)の出初式には、団員313人、車両24台が参加しました。観閲者の望月市長は、告辞で東日本大震災に触れ「消防団の勇敢な姿をみて、改めてその重要性を認識しました。今後さらに災害に強いまちづくりを目指すためには消防団の力



式典終了後、狩野川に向かって一斉に放水する消防団員

が必要不可欠」とあいさつ。伊奈団長は「火災のみならず地震や風水害にも対応できるようさまざまな訓練を重ねるとともに、使命と誇りを持つてさらなる士気の高揚と活性化を図る」と訓示しました。式典ではそのほか、功労者らの表彰や火の用心三唱などが行われました。



打ちたてのそばを求め長蛇の列を作る参加者

**12/11 そば2千食、午前中に完売
浮橋そばの里まつり**

地元産そばを通して地域の活性化を図ろうと『浮橋そばの里まつり』が、浮橋公民館広場で行われました。販売されたそばは、同地区で栽培されたそばの実を原料に、全ての工程を区民が調理したもの。用意した2千食のそばは、かけそばやバック詰め、生そばとして安価で販売され、午前中には完売。来場者は、打ちたての新鮮なそばを口いっぱいはお張り笑顔を見せていました。

そのほか、軽トラックの荷台で農産物を販売する軽トラ市やそば打ち体験コーナー、おもちの販売なども行われ、一年に一度のお祭りに、里中が活気づいていました。

**12/27 門松で来庁者をお出迎え
市役所庁舎に門松設置**

新年を祝おうと、市役所3庁舎(伊豆長岡・葦山・大仁)の正面玄関に、年末年始の来庁者を出迎える門松が設置されました。

同門松は、伊豆の国市シルバー人材センター有志10人により制作されたもの。市へ寄贈するため12月上旬に、経験者が中心となって、青竹やマツ、クマザサなどを組み合わせ完成させました。

同有志らが門松を市へ寄贈するのは初めて。「おめでたいことなので、来年以降も続けていきたい」と意欲をみせていました。

なお、門松の設置期間は、1月6日まで終了しました。



伊豆長岡庁舎玄関に門松を設置する有志の皆さん